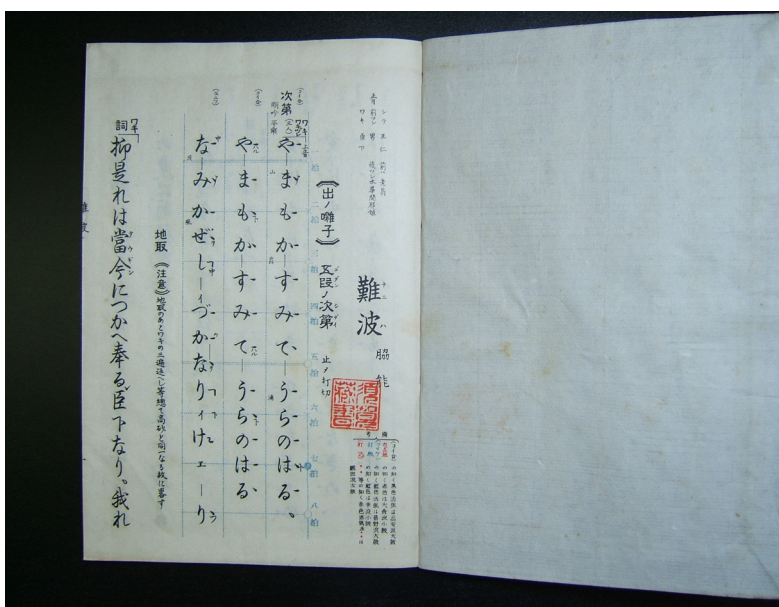
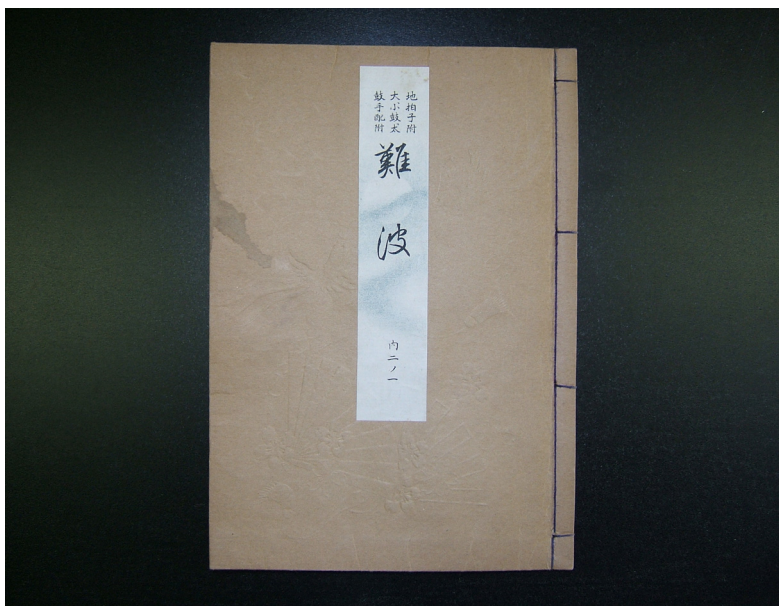


田崎延次郎 『大正九年九月檜常之助刊地拍子附謡本「難波」』

写真下は、冒頭の次第の部分。出の囃子の名称「五段ノ次第」等を注記しているのは親切である。続いて、次第が八割に割り付けられている。注意して見ていただきたいのは、特に上の句の文字の配置である。冒頭の「やまも」の「ま」の文字は、現代ならば第一拍目と二拍目の真ん中の位置に書くところだろう。しかしながら、著者の田崎は、「ま」を真ん中よりすこし上に寄せて置いている。ここでもやはり、中島（24頁）以来の三分割が意識されている。三分割する線自体はすでに消されてはいるものの。



標題 内題…難波

標題紙…

奥附…

その他…難波（柱）、地拍子附大、小鼓、

太鼓手配附 難波 内二ノ一（題

簽

著者 奥附…田崎延次郎

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…檜大爪堂書店

出版年…大正9（1920）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…一七丁

寸法…23×16（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考